

アスパラガスの春芽栽培管理作業について①

R5.12

アグリ技研㈱

1. 地上部の刈取り時期について

◎1年生株（収穫1年目）は、休眠も浅いので茎葉の黄化80%前後で刈取

◎多年生株は、十分に黄化状態で刈取（極端に早く刈取ると収量、品質低下）

《生育状況に応じた刈取時期を選択しましょう》

2. 作業の流れについて

作業	ポイント
地上部刈取り	地下茎に余り刺激の無いように作業する（草刈り機避ける）
擬葉、枯葉の撤去	茎葉を圃場外へ持ち出す（病虫害抑制対策）
バーナー焼き（1回）	ハウス内全面をムラなく焼き、菌密度を低下させる。
表土の掻き	多年株は鱗芽が見えない程度に軽く行う（10 cm前後） ☆1～2年生株は掻き取りは控える。
バーナー焼き（2回）	斑点性など多かつた箇所は特に徹底的に行う。
冬肥	畝上に施肥又は溝部、堆肥散布（肥料混用可）
除草剤散布	センコル水和剤 1.5 袋/1000 (10a) を散布
カーテンの内張り	地温 18℃安定で萌芽開始（一気にハウス内温度を上げる）
保温直後の灌水	晴天時の午前中にたっぷりと行う。
蒸込、保温開始	一斉にハウス内の温度を上げる。（積算温度 100～120℃）

3. 冬肥・春芽追肥について 基準「10a 当たり」

肥料名	施肥量	備考
鮮彩美人 643	6 袋	有機 100% 質肥料 成分 6-4-3
豊作源	8～10 袋	連作障害軽減資材
珪リン酸	2～3 袋	ミネラル有機肥料
腐植酸	3～5 袋	腐植向上資材
モンネン	3～5 袋	CEC の向上資材
カルタマQ	5～10 袋	PH調整有機石灰
完熟堆肥	5 t	地力向上

☆土壌分析により適正な施肥に努めましょう。

◎春芽収穫期の追肥には

「鮮彩美人 066」又は「センサイオール 1」を7～10日（収穫量に応じて）に1.5袋追

肥